

～こども議会が開催されました～

11月21日 鏡野中学校の生徒9人が議会議員となり、一般質問を行いました。
日頃思っていることや市政への提案などを議場で堂々と質問しました。



■人手不足について（3年生 五藤 優大 議員）

- Q. 若い働き手が減っている。地域経済の維持、発展のため外国人労働者を増やすことを提案する。
- A. 外国の方に働いてもらうことも大切な考え方と捉えている。外国から来た方が安心して暮らせるようにする必要がある。香美市に住む皆さんの理解や協力も大切だ。

■病院の数について（3年生 田中 結 議員）

- Q. 病院の数を増やして混雑を解消したい。外部との連携の強化と病院数を増やしてはどうか。
- A. 市が大きな病院を新設するのは予算的に難しいと感じている。高知大学医学部附属病院より医師の派遣を受けるなど、外部と連携している病院もある。

■既存の店の有効活用（3年生 久保 将吾 議員）

- Q. 未成年向け屋内娯楽施設が少ない。あれば観光客や移住者が増えるのではないかと考える。市の考えは。
- A. 空き店舗等を活用した新事業への補助制度がある。民間事業者ができることはお任せしたいという考え方である。本市の既存施設の活用もできるのではないかと考える。

■街灯の少なさについて（3年生 水田 大晴 議員）

- Q. 4年前に提案した街灯設置の進捗を知りたい。山田高校北側の道路から西に曲がる場所にカーブミラーを設置してほしい。
- A. ご質問以降、新たに36カ所の防犯灯が増え、市全体では現在1996カ所設置されている。カーブミラーについては、通学路安全対策協議会で要望をあげるよう、まずは学校の先生に相談してほしい。

■生活補助について（3年生 川島 彩由奈 議員）

- Q. 山間部の住民に生活補助が行き渡るように、道路整備や移住者を増やす取り組みをしてはどうか。
- A. 山間部の道路は、特に危ない場所から修理や改良を進めている。地域を元気にするために、集落活動センター運営事業に力を入れている。民間法人と連携して移住施策を行い、社会増を実現している。

■まちづくりについて（3年生 岩島 楓華 議員）

- Q. 香南市と比べて飲食店が少ない。補助金や助成金による経営支援を強化してはどうか。
- A. 香美市商工会と連携し、空き店舗活用や新しく店を始める事業者に店舗改修費用等の一部を補助する制度を整えている。今後、新たな制度を考えいく。

■教育長不在について（2年生 前田 朔太朗 議員）

- Q. 重要な意思決定など教育委員会の機能低下につながるのではないか。生徒総会からの意見や要望がすぐに反映されないのでないか。
- A. ご心配をおかけし、おわび申し上げる。ご要望には、市長部局でできることは予算を含めて対応する。教育長の代わりは教育長職務代理者が勤めていて皆さんの声は変わらず届いている。

■空き家問題について（3年生 森田 陽茉莉 議員）

- Q. 移住定住を意識した制度の運用、手厚い補助制度や高めの支援水準を設定してはどうか。
- A. 空き家バンクを通じて、主に移住者向けの住居としての活用を促進している。日本全国で考えなくてはならない問題だと考える。今後も地道に取り組む。

■ふるさと納税について（3年生 明石 空 議員）

- Q. 近年、納税寄付額は減少している。本市の魅力を伝えられるモノや体験など、返礼品の見直しを提案する。
- A. 返礼品提供事業者の拡充や返礼品数の増加に取り組んでいるが、依然として難しい状況である。今後は本市の魅力を伝えるため体験型返礼品や、企業版などにも注力する。